

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

株式会社横河ブリッジホールディングス
2025年6月17日

- ✓ 2025年3月末のROEは10%台に改善し、株主資本コスト（7%程度）を上回りました。
- ✓ PBRは株価の下落により、1.0倍を下回って推移しています。
- ✓ PERは業界平均を下回って推移しています。成長の柱であるシステム建築事業の業績が市場期待を上回っていないことが主因と考えられます。

ROE



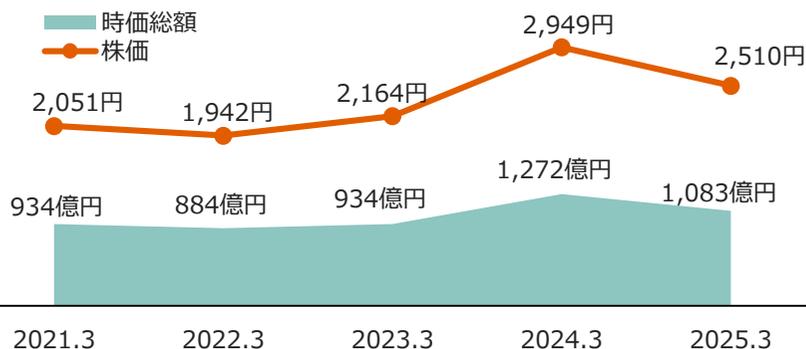
直近のデータを参照し、CAPMを用いると、株主資本コストは7%程度と推計。

PBR

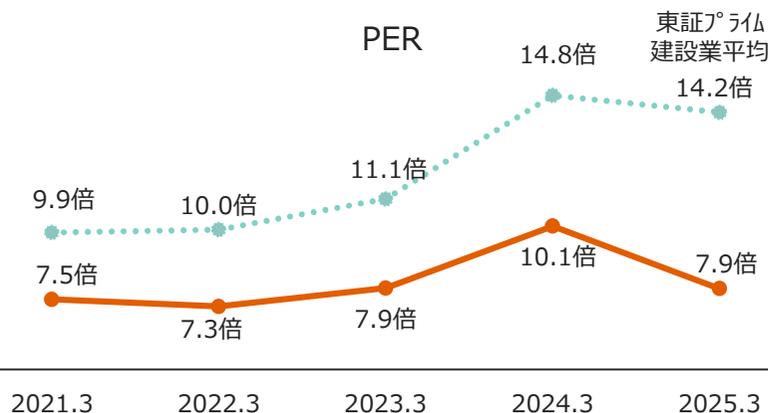


2021.3 2022.3 2023.3 2024.3 2025.3

株価・時価総額



PER



2021.3 2022.3 2023.3 2024.3 2025.3

- ✓ 第7次中期経営計画の着実な遂行により、足元の収益性を高め、将来の成長性を示すことでPBRの向上を目指します。
- ✓ コーポレート・ガバナンスや情報発信の強化により株主資本コストの抑制を図ります。

取組み	進捗・達成状況
事業戦略の遂行	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 第6次中計（2022年度～2024年度）では橋梁事業は想定を上回って推移した一方で、エンジニアリング関連事業は伸び悩んだ ✓ 第7次中計（2025年度～2027年度）では橋梁保全事業、システム建築事業、エンジニアリング事業に積極的に経営資源を投入して成長させる
ROEの向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 第6次中計期間は株主資本コストを上回る資本収益性を達成した ✓ 第7次中計最終年度にROE10%以上の水準を目指す
株主還元の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 40億円の自己株式の取得を実施（2022～2024年度） ✓ 業績変動による影響を抑えるため、配当方針を「配当性向30%以上」から「DOE3.5%以上」に変更（2025年度～） ✓ 累進配当、増配基調継続（2025年度は前年度+10円の増配を計画）

取組み	進捗・達成状況
<p>政策保有株式の縮減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 17銘柄 84億円の売却（2022～2024年度） ✓ 保有残高は2025年3月末時点で連結純資産の10%未満に低下
<p>コーポレート・ガバナンス体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 監査等委員会設置会社に移行（2024年度～） ✓ 独立社外取締役の選任比率が過半数（2024年度～） ✓ 統合リスク管理委員会を設置し、リスク管理態勢を整備（2024年度～）
<p>情報発信の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コーポレートサイトの刷新および英文開示をはじめとするIR情報の開示強化（2024年度～） ✓ 決算説明会の録画配信の開始（2024年度～） ✓ システム建築事業を報告セグメントとして開示（2025年度～）